

国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」道路計画技術検討委員会の概要

秋田県では、平成27年度より6回の委員会を開催して検討を進めてきたところであり、令和元年11月14日に開催した第7回委員会においてルート帯を選定しました。

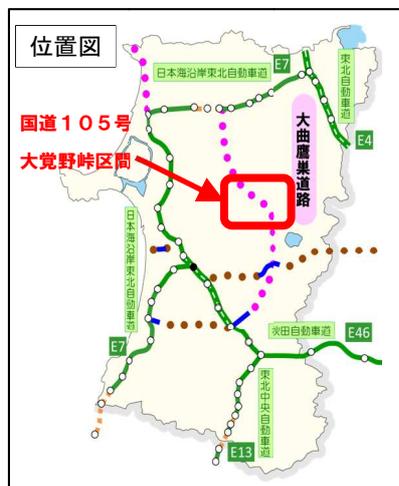
○国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」 道路計画技術検討委員会

(委員)

西村 和夫	首都大学東京理事
渡辺 寧	秋田大学教授
日下 敦	土木研究所上席研究員
真下 英人	施工技術総合研究所長
大島 洋志	元首都大学東京客員教授
八木 弘	中日本高速道路株式会社 専門主幹

(オブザーバー 第7回より出席)

国土交通省	東北地方整備局	道路部	道路計画第一課
国土交通省	東北地方整備局	能代河川国道事務所	
国土交通省	東北地方整備局	秋田河川国道事務所	



<第7回道路計画技術検討委員会>

1 日時 : 令和元年11月14日(木) 13:30~15:30

2 場所 : 弘済会館(東京都千代田区)

3 議事

- (1) 国道105号大曲鷹巣道路の概要
- (2) 国道105号大曲鷹巣道路における現状と課題
- (3) 国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」の整備方針
- (4) 国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」における調査・検討結果の報告
- (5) 国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」の整備方針まとめと技術的課題
- (6) 今後の検討の進め方

4 議事内容・まとめ

- 災害箇所、大規模地すべりブロック等を回避するとともに、異常気象時・特殊通行規制区間を解消することにより、自然災害に強いネットワークが実現可能なルート帯を選定することについて、妥当であると評価された。
- 大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」における、高度な技術力が要求される技術的課題を確認した。
- 今後の検討の進め方として、更なる調査・検討を行い、技術的課題の解決に向けた構造の検討を進めていくことについて、妥当であると評価された。
併せて、ルートの妥当性を確認し、詳細ルートの検討を進めていくことについて、妥当であると評価された。
- 仙北市側におけるトンネル通過区間は、トンネル上部において、帯水層の下層に遮水層が存在しており、天端からの突出性の湧水が懸念されることから、慎重に施工計画の検討を行う。
- 自然環境へ配慮した適切な環境保全措置の検討を行う。

国道105号／地域高規格道路大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」について

位置図

国道105号
大覚野峠区間



平面図



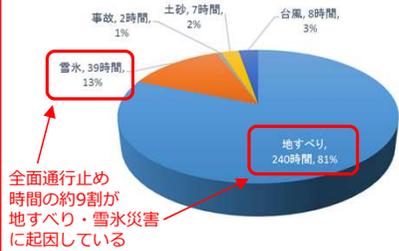
大覚野峠区間の急カーブ



冬期の急カーブの状況

頻発する自然災害

▼大覚野峠区間 全面通行止め累計時間
(平成19～30年度 発生要因別)



・平成19～30年度の間には12回の全面通行止めが発生
(異常気象時・特殊通行規制区間内に位置する「大覚野峠区間」で発生)

・当該区間は、大規模地すべりブロックや急峻な地形を有しており、地すべり・雪氷災害等が発生しやすく、全面通行止めが頻発

・全面通行止め発生時は、周辺に迂回路がないため、広域迂回を余儀なくされており、住民生活や人流物流に大きく影響



高度な技術力

<技術的課題>

- ①断層・破砕帯が広域的に存在
(トンネル掘削時に突発出水の原因となる)
- ②膨張性・低強度を示し、帯水層を有する不均質な地山が広域的に存在
(トンネル掘削時に地山変状や突発出水の原因となる)
- ③多数の地すべりが広域的に存在
(トンネルへの近接が避けられず、掘削時に地山変状の原因となる)
- ④当該区間は、災害箇所、大規模地すべりブロックを回避した位置を通過するため、小土被り区間、既設構造物(橋梁・トンネル)近接区間が発生

技術検討委員会

国道105号大曲鷹巣道路「大覚野峠区間」道路計画技術検討委員会(平成27年度～)

- ・有識者からなる「技術検討委員会」を設置し、検討内容や助言を受けるモデル的な取り組み
- ・第7回委員会までの計画検討により、県によるルート(案)をとりまとめ

回数	開催日時	内容
第1回	平成28年3月23日	・地形、地質上の特徴・課題整理
第2回	平成28年5月18日	・合同現地調査
第3回	平成28年9月2日	・一次地質調査結果の報告 ・概略ルート(案)検討
第4回	平成29年8月31日	・二次地質調査結果の報告 ・概略ルート(案)検討
第5回	平成31年1月11日	・三次地質調査結果の報告 ・概略ルート(案)とりまとめ
第6回	平成31年4月～6月	・ルート(案)通過位置における計画・施工上の課題と対応方針の検討
第7回	令和元年11月14日	・四次地質調査結果の報告 ・ルート(案)通過位置における計画・施工上の課題と対応方針の整理 ・現道・地域課題を踏まえた政策目標設定 ・整備方針と技術的課題の整理